

フラムに變し後之を稀硝酸にて洗滌し乾燥して黄色無晶形粉末の酸化ウオルフラムを製造する方法に係り其目的とする所はメタウオルフラム酸の成生を防止し酸化ウオルフラムを粗大なる沈澱状態に於て分離し且つ水に溶解することなからしめ其成生歩合を増加するにあり。

特許請求の範圍 一、前記目的を達する爲にウオルフラム鐵鑛の粉末を苛性アルカリ液にて處理し抽出せるウオルフラム酸アルカリを約一割の硝酸を含有する鹽酸中に注入することを特徴とする酸化ウオルフラム製造法 二、前記目的を達する爲に前項記載の方法に於て折出せるウオルフラム鑛を煮沸し無水物に變化し之を稀薄なる硝酸にて洗滌して夾雜物少き酸化ウオルフラム製造法

## 商 況

### 海 外 商 況

#### ○米國金物市況

鋼鐵の注文盛なるに製造者は出荷の約定を手控へたるを以て、市況緊張し價格は十ヶ月前に騰貴を初めて以來、此二週間(十月來)に最も急激なる騰貴をなせり、カーネギー製鋼會社は鋼錠、鋼板及び形鋼を一噸に一弗(即ち一封度一・五〇仙)引き上げたるも、忽ちにして此價格は市價の最低

價格となれり、其後數度の引き上げの結果一ヶ月の間に一噸につき三弗の騰貴を來せり、凡ての鋼鐵製品の平均價格は一九一二年の暮に最高に達したる騰貴價格に等しく、一九〇九年の騰貴に於ける最高價格よりも尙ほ一噸に約二弗又一九〇七年の騰貴價格よりは六弗低價にあり、然れども現今の價格騰貴の傾向は甚だ強硬にして、此數ヶ月間は一九〇九年及び一九〇七年のレコードを破るに至るやも知れず。

鋼市況に於ける實際の影響甚だ大にして、此三ヶ月間に於ける製鋼工場の産額は未曾有の多額にして、疑ひもなく彼等の能力の最高點に達したるも尙ほ益々需要に追はれつゝあり、内地需要は漸次増加し、鐵道は益々貨車の不足を告げつゝあり、之れ單に收穫物輸送季に際せるのみならず、近來になき豐作なりしによる。

或る交戰國よりの注文は非常に多量にして減退の徵候なく、中立國よりの需要も常に増加しつゝあり。

鋼鐵市況に於る人爲的影響も亦同様に價格を騰貴せしむるに與て力あり、鋼鐵買手は戰爭により市價の騰貴すへきを熟知し、其需要は先例なきものなるを認むるを以て、彼等の慣用手段なる騰貴防遏をなさんとはせず、此實際並ひに人爲的影響は相伴ひて鋼鐵の價格に強き騰貴の傾向を與へたり、此騰貴の終局は決して近からず、今後十ヶ月間(或は六ヶ月間)に於ける騰貴は過去十ヶ月間に於ける

騰貴よりも一層大なるへし。

銑鐵 七、八、九の三ヶ月間の可なり著しき騰貴の後、市況は明かに鎮靜の状態に歸し、價格は十月初めの三週間は實際に不動なりしか、其後更に新なる騰貴を來せり、之れ購買の増加によるよりも鋼鐵價格の急激なる騰貴の爲め、銑鐵價格の激しき騰貴により銑鐵の多大の取引を見越したるによる、此二週間に南部の銑鐵は一噸につき五十仙騰貴せり、然るにシカゴ製鐵所は一・五弗以上を引き上げたり、又ピッツバーグ附近バレー地方に於ける鑄物銑は五〇仙騰貴し、以前の鹽基性銑鐵の呼値に迄達せり、製鋼工場は一般に期待せる程度には市場の銑鐵を購入せず、然れとも鑄物工場に於ける消費は實際に増加すへしと豫想せらる。

銑鑄市場の呼値左の如し。

- 二號鑄物銑フィラデルフィヤ渡し 一六・二五—一六・七五<sup>弗</sup>
- 同 バンロー 鎔鑄爐渡し 一五・五〇—一六・〇〇
- 同 クリーブランド渡し 一五・二五
- 同 シカゴ鎔鑄爐渡し 一五・五〇—一六・〇〇
- 同 パーミンガム渡し 一二・〇〇—一三・〇〇
- ピッツバーグ地方相場、ブレー 鎔鑄爐渡し。
- ベセマー銑 一六・〇〇<sup>弗</sup>

ベシーック銑(マレアブル及ひ鑄物用) 一五・〇〇

グレーフォージ銑 一四・五〇

ジョンズ、エンド、ラーフリン製鋼會社は、ペンシルバ

ニア、キッタンニングのレバカ製鐵所を借り入れ自己使用の滿俺鐵を作り又アリクイツツバの一鎔鑄爐にて標準鹽基性銑鐵の製造をなせり、今迄休止せるレバッカ製鐵所の所有者は鹽基性銑鐵製造の目的にて吹き入れたり。

鋼鐵 軟鋼片は近來迄實際に商品中には顯はれさりしか、現今普通の市價はベセマー鋼片二五弗平爐鋼片二六弗を稱ふ、薄板用鋼鋅は特に一弗高價なり、但し實際には全く賣手なく一九一六年積出の契約開始せられたり、即ち平爐薄板鋼片四五〇〇噸の契約は一月より六月迄の積出にてピッツバーグ渡し三〇弗(即ち工場渡し二八弗)にて取結はれたり。

轉爐鋼薄板用鋼鋅は第一期ものピッツバーグ渡し二七弗にて取引せらる。鋼彈用鋼片は五〇—七〇弗、鋼鋅はピッツバーグ渡し三二—三三弗なり。

成形鋼材 鋼線は十月二十一日一噸に付二弗騰貴し、鋼鋅、鋼板及形鋼は同二十五日頃に一弗騰貴せり、ブラック及ひブリュリアンニールド薄板は稍々確實に騰貴せり、鋼管類には高下なし。

各種成鋼の市價次の如し。

轉爐鋼軌條、標準斷面のもの工場渡し 一・二五<sup>弗</sup>

平爐鋼軌條、同上(但コロラドを除く) 一・三四

鋼板、タンク用品質のもの 一・五〇

形 鋼 一・五〇

鋼鍍及ひ帯

一・五〇臺

籠

一・七五 — 一・七〇

鐵鍍、フィラデルフィヤ渡し

一・五五九 — 一・六〇九

同 シカゴ渡し

一・三五

同 ビツバーグ渡し

一・四五 — 一・五〇

鋼 線

一・七〇

釘 (一疋につき)

一弗八五

ペンキ塗鋼線

二・〇〇

亞鉛引鋼線

二・七〇

薄板(ブリュニア)ゲージ一〇番

一・七〇

同 (ブラック)ゲージ二八番

二・一〇 — 二・二〇

亞鉛引薄板 ゲージ二八番

三・五〇 — 三・六〇

ペンキ塗波板 ゲージ二八番

二・三〇

亞鉛引波板 ゲージ二八番

三・五五 — 三・六五

鍍力板 (百封度に付)

三・一〇 — 三・二〇

鋼管<sub>三吋</sub>(ブラック)定價表の

七九%

同亞鉛引 定價表の

六三・五%

ポイラー用鋼管 三・五—四・五吋定價表の

七一%

建築用リベット

一・九〇

ポイラー用リベット

二・〇〇

鐵以外の金物十月のニューヨークに於る市價左の如し。

銅 (一封度に付き)

一七・八七

亞鉛 (同 上)

一三・三七

商 況

鉛

(同 上)

四・五〇

錫

(同 上)

三三・五〇

銀

(一オンスに付き)

四九・五三

水

銀 (七五封度入)

九二・〇〇

○獨逸金物市況(十月二十日伯林)

製鐵額の増加に伴ひ市況は稍や變調を來せり、常に市場に製品を供給せる製鋼工場は二ヶ月以前迄の如く仕事に追はれず、價格騰貴の傾向は餘程衰へたり、取引により支配せらるゝ凡ての價格は本年の第四期に於ては變化なく、只例外として鋼線の一〇馬克(二・三八弗)騰貴せるのみ。

製鋼ユニオンは一ヶ月前凡ての半成品及び建築用形鋼の價格を上下せざる事を決議せり、又銑鐵シンデケートも同様の行動を取れり製鋼工場は軍物品として多量の製品を出しつゝあり、其全力にて仕事を繼續せり、銑鐵中製鋼原料及びヘマタイト銑の需要最も大なり、種々の標準品を開戦前の市價と比較すれば次表の如し。

現時の市價

一九一四年六月の市價

一號鑄物銑

九四馬克

七四・五〇馬克

三號鑄物銑

八九同

六九・五〇同

ヘマタイト銑

一一五同

七九・五〇同

但し一馬克は二三・八仙なり

古鐵の或種のものには需要大にして高値を稱ふ、例へば古

軌條は九五馬克(二二・六一弗)にて渴望せらる。内地鑛石市況は非常なる活氣を呈し、品位良好なるものは價格引締りルクセンブルグ、ロレーン地方のミネツテ及他の燐分多き鑛石の相場は近來稍や緩めり、勿論瑞典以外の外國鑛石は甚た品薄にしや稍々其輸入額を減せり、ライン下流の大なる製鐵所は、戰爭と無關係に、なるべく内外市場と獨立せんか爲めジーゲン地方に鑛床を得んとする傾向あり、クルツプ及ひラインの製鋼所は此地方の鑛山を買入れたり、最も不況なるは鋼鋅の取引にして六月下旬乃至七月頃二三の製鋼所は普通の鹽基性鋼鋅の最低價を一六〇馬克(三三八・〇八弗)に協定するにつとめたり、當時實際の最低價は一四〇馬克(三三三・三二弗)なりき、然れども鋼鋅の製産額は數ヶ月間確實なる増加を來たせり、之れ主として南西部の以前より休止せる二三製鋼所か再び操業を開始せるによる、然れども八月の初旬に於ける市況は買手に有利にして其後一四〇馬克最低價を保つ事稍々困難となれり、二三の取引は一三五―一三八馬克(三二・一三―三二・八四弗)にて行はれたり、取引の狀況を變したる徵候として先頃迄六ヶ月間の出荷期間を約定せるに現今は註文に關する見積りを買手に發送して出荷を待つに至れり、冬期を通して一四〇馬克の價格を保ち得へきやの問題は軍事注文の多寡によりて決せらるへし、此變化せる相場は一層強固なる取引組合を作る努力に刺撃を與へたり、鋼板の取引は活潑にして價格引締り、

中立國よりの厚板の需要特に大なり、各種鋼製品の價格を開戦前に比較すれば次の如し。

現今の價格		一九一四年六月の市價	
	馬克		馬克
鋼塊	一〇二・五〇	鋼塊	八二・五〇
小鋼塊	一〇七・五〇	鋼塊	八七・五〇
鋼片	一一五・〇〇	鋼片	九五・〇〇
スラツプ	一一七・五〇	スラツプ	九七・五〇
鋼鋅	一四〇・〇〇	鋼鋅	九〇・〇〇
厚板	一五〇・〇〇	厚板	九六・〇〇
鋼線	一四〇・〇〇	鋼線	一一七・五〇

### ○英國金物市況

●銑鐵 市況は一般に益々好景氣なり之れ疑ひもなく一つはヘマタイト銑の多大の需要によるものにして、東海岸に於ける呼値一一〇志に達せり。各種銑鐵の需要供給の均衡は、生産額の加減により價格に大なる變動を來さるる程度によく調節せらる。製品工場の活動により以前よりも多量の銑鐵消費せらるゝを以て、市場に於ける供給過剩を減し價格騰貴の傾向を來せり。米國に於ける軍事注文により從來最高額なる一九一三年二月の銑鐵産額一日九二・三七〇に對し本年九月の九五、〇〇〇噸なる新レコードを作れり。

●滿俺鐵 市況は實際には變動なきも、月末の積出は最初氣遣はれたるよりも良好なるへしと豫想せらる。米國より

の報知によれば、現今迄の受入少くして二〇磅前後にては殆ど新規取引はれず。

半成品の市況は特にウエールズに於て強硬なり、若し此地方の製品が多量軍事品に使用せらるゝに至らば半成品の市況は一般に影響を受け一層騰貴すへし。

亜鉛引鐵板 市況引續き確實にしてゲージ二四番物最低一七磅一〇志なり、ブラック薄板の騰貴により景氣よく呼値下落せず。

鋳力板の市況は鋼鐵の騰貴により再び活氣を帯ひ、英國政府のみならず佛國の市場は今後サウスウエールズの製鋼の多量を需むへし、先週中に於ける取引は良好にして、現今一八志六片を與へ居るも多數の工場は一九志を保てり。

軌條 取引は決して活潑ならず、二三新規注文は佛國より市場にあらはれつゝあり、濠洲の大注文は其價格不明なるもブロークンヒル會社により引受けられたるか如し、米國に於ける新規注文は甚だ多量にして、ニューヨーク、セントラル鐵道は來年度一二〇、〇〇〇噸の注文をなせり、其内五五、〇〇〇噸はイリノイス製鋼會社にて又五五、〇〇〇噸はラカワナ製鋼會社にて、一〇、〇〇〇噸はカンブリヤ製鋼會社にて引受けられたり。バーリントン鐵道は一五、〇〇〇噸を、又他の鐵道は九、〇〇〇噸を購入せり、九月に於ける鋼鐵協會の軌條取引は一四〇、〇〇〇噸なりき、

カナダ、アルゴマ製鋼會社は一七、〇〇〇噸の注文を引受けたり。

他の製鋼 他の種類の製品は甚だ強硬にして、印付鋼鋸の騰貴はミッドランドの他種のものに比して強味なり、英國北部にては鋼鋸及び山形鋼は一噸に一〇志引上げられたり、米國に於ける製鋼額は多量の歐洲軍事取引はれたる結果急速に増加せり。

各種金物の市價左表の如し。

材料種別

一九一五年 一九一五年 一九一四年  
十月廿一日 十月十四日 十月廿二日

鐵鑛

ルビオ(モツドルスボロー) 三三、〇〇片 三三、〇〇片 一七、〇六片

銑鐵

三號鑄物銑(モツドル) 六六、〇六 六六、〇〇 四九、〇九

現金渡し

スコツチ現金渡し(グラス) 六六、〇二五 六五、〇八 四九、〇五

ヘマタイト現金渡し(西海岸) 七二、〇一五 七一、〇六 五五、〇四五

冷風鑄(サウス、スタツフ) 一〇〇、〇〇 九七、〇六 六六、〇〇

物銑(オールドシヤイヤ) 一五〇、〇〇 一五〇、〇〇 一三二、〇六

製品

印付(サウス、スタツフ) 一二、一〇〇志片 一二、一〇〇志片 九、〇〇〇志片

鋼鋸(オールドシヤイヤ) 一一、二〇六 一一、二〇六 七、一〇〇〇

普通鋼鋸 九、〇二六 九、〇二六 六、〇七、〇六

亞鉛引鐵板 一八、〇〇〇 一八、〇〇〇 一三、一〇、〇〇

造船用山形鋼(モツドル) 九、一五、〇〇 九、一五、〇〇 七、〇〇〇〇

山形鋼(グラスゴ) 一〇、一〇〇〇 一〇、一〇〇〇 六、一七、〇六

造船用鐵板(モツドル) 一〇、〇〇〇〇 一〇、〇〇〇〇 七、〇五、〇〇

同止(グラスゴ) 一〇、〇二、〇六 一〇、〇二、〇六 七、〇二、〇六

汽鑛用鐵板(グラスボー) 二〇、一五、〇〇 一〇、一五、〇〇 七、一〇、〇〇  
 鉄力板(ベセマー鋼サウ) 一八、六一、一八、九<sup>志片</sup> 一七、〇九 一二、〇九  
 (スウエールス)

鐵以外の諸金物十月下旬の代價左の如し。

銅 現物 七二、一七、〇六<sup>志片</sup>  
 錫(イングリツシユ) 一五二、〇〇、〇〇  
 亞鉛(イングリツシユ) 七〇、〇〇、〇〇  
 鉛(イングリツシユ) 二五、一〇、〇〇

## ○内國商況

鐵 新規輸入大激減を告げたるにも拘はらず新規の大手口商談續出して盡くる所なきに米本國の相場は入電毎に新高を齎らして先高見越の思惑買さへ相應に嵩みたる爲め當十一月の市場は引續き強硬の歩調に出てたる矢先、同月七日カーネギーの配下なる九大製鐵所に依りて組織せらるゝ合衆國製鋼團てふトラストは鐵管類を除き其他の棒鐵、鐵板類の新規註文に屬するものに對しては總て絶對に賣止を斷行するに決定せり而も今回の賣止は決して單純なる思惑に基くものに非ず、即ち各所へ到着せる電報を綜合するに其原因として見るべきものは(一)該トラスト團か交戰國より過大の註文を引受けて之か處分に困り遂に一先つ賣止をなして之か整理を行はんとすること(二)最近該トラスト團中有力なる二大製鐵所か獨探の爲に烏有に歸せしめられ、從て其引受註文は該トラスト團なる他の總ての製鐵所に轉嫁され其結果は新規契約を結ぶの餘裕なきに至りたるにあるものゝ如し、

左らてたに米國への新規註文品も船腹不足の爲め着荷兎角に遅れ勝ちとなり特に巴奈馬運河杜塞後は蘇西運河又は喜望峰を迂廻するを以て一層延着すべき道理あるに加へ、荷主側にありても明年三四月物に非されは註文を引受けざる實況なるを以て、假りに賣止の事實なしとするも、尙ほ明年五六月の着荷は覺束なかりしなり、而して米品賣止前に於ける註文品は今後到着すべきも目下の缺乏状態に對し果して幾何の融和劑たるべきと、殊に内地製鐵所の供給力は殆ど極少量なる既約品に止まるの實狀なり、加ふるに英國筋よりの輸入は米品賣止の餘波を受け愈々自國用品の前途を懸念して之か輸出困難となるべき理由あり、然るに採鑛、精練、製鐵、造船、鐵道并に時局に關する官民各種工場に於ける原料及び建設材料としての需要尙ほ急なるものあり、而も米品の賣止は何時解除せらるゝや之を知るに由なきか、其解除せられたる場合には又もや歐洲各交戰國は一日千秋の思にて旺盛に買進むべく、我國への着荷には例の迂廻航路に依りて延着となり、且つ迂廻に基く航程の延長と該航路に於ける危険率の増徴とに依りて莫大の運賃を負擔せざる可からざるや明白なり。

是に於てか市中の相場は一舉に暴騰し兩三日前に普通丸棒七圓臺なりしものは一圓方も跳ね、線金の如きも一時の下落に反して著しき暴騰を演し、手持筋の鼻意氣は愈々強硬の度を加へたり、此の秋に當り米國に於けるトラス

ト反對會社側にありても註文滿腹の盛況にて明年六月までは新註文に應せず、且七月以後と雖船腹の都合上積出期を確答する能はずとの事にて、我か鐵價益其暴威を逞ふするにも拘はらず、軍需用としての商談を始め其他輸出製造家も此機を逸せず頻りに買進み、市價日々昂騰して抵止する所なく平鐵並時は九圓糲みまで上進したるのみなるも丸棒に至りては並時物十一圓内外、太物は實に十五圓乃至二十圓見當を唱へ鐵板も亦躍進して三分乃至五分物十五六圓の新高値を呼び英國製薄板番物も九圓五六十錢まで奔騰し市場は全く混亂状態に陥りたり、之を米品賣止前に比せば實に五割方、開戦前に比せば三倍暴騰にして蓋し空前の大相場と言ふべきなり、併し相場も此所まで上くれば鐵商の窮に懸念する所は例の米品賣止か何時まで繼續すべきや否やにありて聊か小氣味悪し、釘類は既に相當の高値に進み居る事として他の鐵類の暴騰に閑却され、此所久しく小康状態を維持せるも、丸釘は製造能力不充なる爲め月末に迫りて更に一圓内外の上進を告げたり。

因に當月末の相場を前月末に比較するに鈦丹引線は二圓二十錢乃至五圓四十錢、鐵板は三六物一圓四十錢乃至四圓、シーメニス三六物五圓三十錢乃至六圓六十錢、四八物三圓二十錢乃至九圓五十錢、鈦丹引平板三圓七十錢、鈦丹引生子板三圓七十錢乃至四圓十錢、丸鐵は二圓七十錢乃至六圓六十錢、角鐵は三圓乃至四圓四十錢、平鐵は一分物二

圓八十錢乃至五圓、二分物三圓十錢乃至四圓、三分物三圓乃至四圓、四分物三圓五十錢乃至八十錢、五分物三圓三十錢乃至五十錢、丸釘は五十錢乃至一圓二十錢、(二寸四分より四寸までは保合)家釘は四圓方の暴騰なり。

銑鐵 從來輸入銑鐵の標準は英國のレッドガーなりしも之は既報の如く工場破壊、職工不足、燃料騰貴等の障害に遭遇して營業休止の状態に陥り又米國品は割高なるに加へ此方面への船腹着しく缺乏せる爲到底輸入の餘地なく、獨り英國クリブランド物のみか輸入品として其名を擅にするに至れり、而して之も月末に差迫り本國渡百斤五十六片、運賃三十四片二分の一を報したる爲め相場は忽ち十一圓方の大暴騰を來して一噸六十圓五十錢を呼ぶに至れり、而も從來は内地渡なりしに近來は海上の危険、船舶の不足、運賃の暴騰の爲め本國渡ならては商談纏らざる事となりし爲め殆ど新規輸入の餘地なき羽目となれり、而して既に買付けたるは明年二三月物までの契約に過ぎすと云ふ、隨て銑鐵相場は開戦以來矢張り捧上けの有様なりしに此所一般に一入強硬となり戦前三十五六圓なりしもの今や實に四十二三圓に昂騰せり。

鑄鐵管 水道用又は瓦斯用其他の鑄鐵管は其製造家か常に大資本を擁して一時に巨額の原料鑄鐵を先約し、現に今日まで使用し來れる原料は専ら安値時代に買付けたる次第なるに加へ取引先も亦多くは公共團體又は株式會社の如き

大手口にして而も之か經費は豫算に依りて制限せられ隨て材料の暴騰は事業繰延の悲境に陥るの恐あるを顧慮して鑄鐵管製造家側には出來得る限り其市價の昂進を抑制する傾向あり、隨て開戰以來一般金物類は狂奔し之か原料たる銑鐵も前記の如く暴騰を告げたるにも拘はらず獨り鑄鐵管のみは戰前と大差なく七十四五圓の市價を維持し來れるは一見奇異の感なくんは非ず、然るに今や當業者の貯藏銑鐵は漸く手薄となり最早明年度の原料買付に着手せんとするに當り銑鐵市價は既に暴騰を告げ前途尙ほ高見越なり、又假りに戰局が迅速に終熄を告ぐるとするも各交戰國は各方面に於ける事業恢復の爲に巨額の銑鐵を需要すへきを以て之か市價は低落の望なきのみか却て昂騰の加速度を強からしむへしと推測すへき理由あり、是に於てか全國鑄鐵管製造業組合は月末に迫り一割方の値上を發表するに至れり。

銅 十一月一日の倫敦市場に於ける銅先物相場は前月末に比し一躍三磅高の七十五磅十二志六片に産れ翌二日に十七志六片安を告げてよりデリ引緩み八日には七十三磅十五志まで下押したるも十日には又々七十五磅十志に引戻し爾來破竹の勢もて驀進し二十三日には遂に八十二磅十七志六片の新高値を示すに至れり、併し翌二十四日には二磅二志六片方崩落を告げてより再びデリアの歩調を辿り月末には七十九磅十七志六片と打着けたり、蓋し之を月初に比せば尙ほ五磅五志方、前月末に比せば實に八磅五志方の上

値なり、倫敦相場暴騰の原因に關する新規の觀測として見るべき物は(一)米國の對英輸出が爲替關係の爲め不利となり(二)更に運賃と保險料の苛重なるに制せられ(三)剩へ船腹は著しく不足を告ぐるに至りて輸送は益々不圓滑となりたる折も折(四)年額十八萬噸の製煉能力を以て普く其名を知られたる米國ロングアイランドなるニコルス製煉所に於ける職工の同盟罷工惹起か甚しく銅供給の前途を悲觀せしめたるにあり、而して前後兩度の安値は暴騰に當然伴ふべき尺進寸退式の反動と見れば大差なかるべきか、翻つて我か内地の市場を覗ふに對露輸出の頻繁なる事實か主因となりて近來我か内地相場は倫敦に比し五六磅の大上鞞なるを以て常態となす、現に本邦銅年産額七萬五千噸の内露國向の物は明年十二月迄の賣約を終へ、英國其他に對するものも亦明年六七七月頃までは既に契約済となり、其結果明年度産額の約六割(四萬五千噸)は賣約を完了して残す所僅に四割(三萬噸)に過ぎずといふ、此秋に當りて倫敦相場の奔騰は如何てか我か内地の市場を沈黙せしむべき、即ち二日には倫敦より新甫三磅高の着電ありて一齊に一圓方昂進し、八日には倫敦反動安の低値を入れて電氣銅以外の各品は悉く五十錢方の下押を告げたるも十一日には倫敦の戻を受けて各品五十錢方も跳ね、續いて二十日には五十錢乃至八十錢方、二十三日には一圓方の昂騰を示したり、然るに上記の如く大部分は既に賣約済となりたる揚句とて人氣は常に上走るも實際の取引は存外捗々しからず、狂奔は却てダレ



氣を呼び易き折柄倫敦の反動安を動機として二十五日には各品五十錢方の低落を見せたり。

錫 軍事用の需用依然續出するに當り一般需要期節に入りたるに支那内地の相場か昇騰せるに加へ揚子江の減水に依りて運賃は上騰し、且つ輸入涉々しからざる爲め前月上騰の後を受けて六日頃には六圓方暴騰し、月末に接近しては更に四圓方も上跳ねたり。

鉛 砲彈用として露國側の註文續々増加し、市場は益々品薄を唱へ特に世界の市場に最上位を占むる濠洲鉛は英國政府の干涉嚴なる爲め我國への輸出も漸次制限の度を強め殆ど入荷の期待なき迄に立至りたれば相場は最近に昂進を重ね遂には前月末に比し實に七圓二十錢高の二十五圓を呼ぶに至れり。

亞鉛 過般來屢々輸入可能を傳へられたる濠洲亞鉛は昨今相場は建ちなから全然英國政府の支配下にありて未だ輸出解禁に至らざる爲め本邦への輸入絶對に見込なきに内地に於ても不足勝ながら輸入品に優越せるものを製出し得るに至りたるも工賃高きに過ぎ、且つ軍需品註文の増加と共に市場は益々品薄を唱ふる折柄刻々に倫敦の高價を入れて相場は蒸進の步調を緩めず、上亞鉛は一ヶ月間に十一圓方奔騰して六十三圓となれり。

安質母尼 市場品薄を唱へ居るにも拘はらず軍需品に吸集さるゝ額益々多大となり殊に支那漢口の在荷は次第に減少しつつある爲め三五圓方昂騰し中にも活字用地金、鉛版用地金、鉛版、鉛管は鉛暴騰の餘波を受けて六圓方も昂進せり。

○相場表 (特記せるもの外は總て十二月十三日調)

銑 鐵 (十二月十九日調)

東京 水橋 商店

一噸に付

釜石木炭壹號銑	七五
同 貳號銑	七二
同 參號銑	六七
釜石再製銑	一一〇
釜石骸炭壹號銑	六五
同 貳號銑	六二
同 參號銑	五八
釜石小割銑	五八
同 滿庵鐵	三〇〇
同 純白銑	一一〇
同 白銑	七五
同 半白銑	六五
釜石鏡鐵	一三〇
舶來レットカー銑	八五
舶來クリブランド銑	八五
最上等道具銑	五〇
コークス (噸入一噸に付)	
舶來シヤムロツク、コークス	五〇
同 ヒーセス、コークス	四八
同 シヤン、コークス	二三
釜石コークス	二五
古河最上等コークス	二八
古河上等コークス	二五
古河一號コークス	二〇

丸 鐵

東京 森岡 商店

十貫目

新瑞西	一三〇〇
一分五厘	一四〇〇
二分	一四〇〇
二分半	一四〇〇
三分	一四〇〇
四分	一五〇〇
五分	一六〇〇
六分	一六〇〇
七分	一五〇〇
八分	一五〇〇
九分	一二〇〇
一寸	一五〇〇
一寸二	一五〇〇
一寸四	一六〇〇
一寸六	一六〇〇
一寸八	一七〇〇
二寸	一八〇〇
二寸四	一八〇〇
二寸八	一九〇〇

角 鐵

東京 森岡 商店

十貫目

新瑞西	一二〇〇
一分五厘	一二〇〇
二分	一二〇〇
二分五厘	一二〇〇

一二〇三

鐵 上 鋼

三分	一二.五〇	平鐵	一分厚	一五.〇〇	新瑞西	三分	一五.〇〇	二八	一九.〇〇
四分	一二.〇〇	東京森岡商店		一五.〇〇	二四	一四.〇〇	二八	一八.〇〇	
五分	一一.〇〇			一四.〇〇	二寸	一四.〇〇	二四	一八.〇〇	
六分	一〇.五〇			一四.〇〇	寸八	一三.〇〇	寸八	一八.〇〇	
七分	一〇.五〇			一四.〇〇	寸六	一五.〇〇	寸六	一八.〇〇	
八分	一〇.〇〇			一四.〇〇	寸四	一三.〇〇	寸四	一五.〇〇	
寸二	一四.〇〇			一四.〇〇	寸二	一三.〇〇	寸二	一三.〇〇	
寸四	一二.〇〇			一四.〇〇	一寸	一〇.五〇	一寸	一〇.五〇	
寸六	一二.〇〇			一四.〇〇	九分	一〇.五〇	九分	一〇.五〇	
二寸	一二.〇〇			一四.〇〇	八分	一〇.五〇	八分	一〇.五〇	
二四	一三.〇〇			一三.〇〇	七分	一〇.五〇	七分	一〇.五〇	
二八	一三.〇〇			一三.〇〇	六分	一〇.五〇	六分	一〇.五〇	
二分厚					五分	一二.〇〇	五分	一二.〇〇	
					四分	一二.〇〇	四分	一二.〇〇	
					三分	一三.〇〇	三分	一三.〇〇	

第 拾 號

三分	一三.〇〇	五分厚	一二.〇〇	寸六	一四.〇〇	六分	一二.〇〇	二八	一二.〇〇
四分	一二.〇〇		一一.五〇	寸四	一三.〇〇	七分	一一.五〇	二四	一一.〇〇
五分	一一.〇〇		一一.〇〇	寸二	一六.〇〇	八分	一二.〇〇	二寸	一一.〇〇
六分	一一.〇〇		一一.〇〇	寸四	一三.〇〇	一寸	一六.〇〇	寸八	一一.〇〇
七分	一一.五〇		一一.五〇	寸二	一三.〇〇	八分	一二.〇〇	寸六	一一.〇〇
八分	一一.五〇		一一.五〇	寸四	一三.〇〇	一寸	一六.〇〇	寸四	一三.〇〇
寸二	一〇.〇〇		一〇.〇〇	寸六	一五.〇〇	二寸	一一.〇〇	寸二	一五.〇〇
寸四	一〇.〇〇		一〇.〇〇	二寸	一一.〇〇	二寸	一一.〇〇	二寸	一一.〇〇
				二四	一二.〇〇	二寸	一一.〇〇	二四	一一.〇〇
				二八	一二.〇〇	二寸	一一.〇〇	二八	一二.〇〇
				三分厚		四寸	一一.五〇	三分厚	
						五寸	一二.〇〇		
						六寸	一二.五〇		
						七寸	一一.五〇		
						八寸	一一.五〇		
						九寸	一一.五〇		
						一尺	一一.五〇		
						一丈	一一.五〇		

鐵 板 (三六物)

寸六	一四.〇〇	五分厚	九.八〇	五厘	一三.五〇	二寸	一三.〇〇	東京森岡商店	
二寸	一三.〇〇		九.八〇	八厘	一三.五〇	寸六	一一.〇〇		
二四	一一.〇〇		九.八〇	一分	一〇.二〇	寸四	九.八〇		
二八	一一.〇〇		九.八〇	三厘	一三.五〇	寸二	九.八〇		
三二	一一.〇〇		九.八〇	四厘	九.八〇	寸四	九.八〇		
				五厘	一三.五〇	寸二	九.八〇		
				六厘	一三.五〇	一寸	九.八〇		
				七厘	一三.五〇	八分	九.八〇		
				八厘	一三.五〇	七分	九.八〇		
				九厘	一三.五〇	六分	九.八〇		
				一寸	一三.五〇	五分厚			
				一寸	一三.五〇				
				一寸	一三.五〇				
				一寸	一三.五〇				
				一寸	一三.五〇				
				一寸	一三.五〇				
				一寸	一三.五〇				
				一寸	一三.五〇				

亞鉛引線 東京野崎商店

十三入	八.九〇	九釘 東京森岡商店		五番	一四.五〇	十六貫目	二二.〇〇
九釘 東京森岡商店		壹樽		六番	一四.五〇	九分	二五.〇〇
				七番	一四.五〇	八分	二五.〇〇
				八番	一四.五〇	一寸	二四.〇〇
				九番	一四.五〇	寸二	二三.〇〇
						寸四	二三.〇〇
						寸六	二三.〇〇
						寸八	二三.〇〇
						寸二	二三.〇〇
						寸四	二三.〇〇
						寸六	二三.〇〇
						寸八	二三.〇〇
						寸二	二三.〇〇
						寸四	二三.〇〇
						寸六	二三.〇〇
						寸八	二三.〇〇
						一寸	二三.〇〇
						二寸	二二.〇〇
						三寸	二二.〇〇
						四寸	二二.〇〇
						五寸	二二.〇〇
						六寸	二二.〇〇
						七寸	二二.〇〇
						八寸	二二.〇〇
						九寸	二二.〇〇
						一尺	二二.〇〇
						一丈	二二.〇〇
						二丈	二二.〇〇
						三丈	二二.〇〇
						四丈	二二.〇〇
						五丈	二二.〇〇
						六丈	二二.〇〇
						七丈	二二.〇〇
						八丈	二二.〇〇
						九丈	二二.〇〇

十番	一五・〇〇	鐵線 東京野崎商店 十貫目
十一番	一五・〇〇	
十二番	一五・〇〇	
十三番	一六・〇〇	
十四番	一六・五〇	
十五番	一七・五〇	
十六番	一八・〇〇	
十七番	一八・五〇	
十八番	一九・五〇	
十九番	二〇・〇〇	
二十番	二〇・〇〇	
二十一番	二四・〇〇	
二十二番	二五・〇〇	
二十三番	二六・〇〇	

十六番	一五・〇〇	電信電話用亞鉛鍍鐵線 東京青木商店 十貫目ニ付
十七番	一五・〇〇	
十八番	一六・〇〇	
十九番	一七・〇〇	
二十番	一八・五〇	
廿一番	一八・五〇	
廿二番	二〇・〇〇	
廿三番	二〇・〇〇	
廿四番	二〇・〇〇	
廿五番	二〇・〇〇	
油引	一五・〇〇	
四〇〇磅(鐵線)	一六・〇〇	
貳〇〇磅(鐵線)	一八・〇〇	
壹〇〇磅(鐵線)	二一・〇〇	
六〇磅(鐵線)	二二・〇〇	
三〇磅(鐵線)	二五・〇〇	
同上用鋼線	一八・〇〇	
一七〇磅(鋼線)	一七・〇〇	
鐵條網トゲ付針金	一七・〇〇	
鋼線	二〇・〇〇	
スプリング用	二〇・〇〇	
東京青木商店	二〇・〇〇	
十貫目	二〇・〇〇	
〇番	二〇・〇〇	
一番	二〇・〇〇	
二番	二〇・〇〇	
三番	二〇・〇〇	

四番	二〇・〇〇	レール(十二月十九日調) 東京水橋商店
五番	二〇・〇〇	
六番	二〇・〇〇	
七番	二〇・〇〇	
八番	二〇・〇〇	
九番	二〇・〇〇	
十番	二〇・〇〇	
十一番	二〇・〇〇	
十二番	二〇・〇〇	
十三番	二〇・〇〇	
十四番	二〇・〇〇	
十五番	二〇・〇〇	
十六番	二〇・〇〇	
十七番	二〇・〇〇	
十八番	二二・〇〇	
十九番	二三・〇〇	
廿番	二五・〇〇	
廿一番	二五・〇〇	
廿二番	二五・〇〇	
廿三番	二六・〇〇	
中古九封度レール	二六・〇〇	
九封度レール	三、〇〇〇	
中古拾二封度レール	三、〇〇〇	
拾二封度レール	四、〇〇〇	
拾六封度レール	五、四〇〇	
拾八封度レール	六、〇〇〇	
貳拾封度レール	六、八〇〇	

廿五封度レール	八、四〇〇	和玉鋼 安來松浦彌商店 十貫目
參拾封度レール	九、五〇〇	
四拾五封度レール	一五、〇〇〇	
車輪(砲金メタル付、一臺ニ付)	一	
チルド車輪九吋	一三	
チルド車輪十吋	一四	
チルド車輪十二吋	一四	
世界一印	一六・〇〇	
□天印	一二・〇〇	
□久印	八・〇〇	
□撰印	一六・五〇	
□天印	一二・五〇	
□刃印	七・〇〇	
以下六圓ヨリ三圓迄		
洋鋼	二七・〇〇	
東京河合商店	二七・〇〇	
十貫目	二七・〇〇	
▲バイト用	九五・〇〇	
東郷〇號丸角	二七・〇〇	
東郷〇號丸角	九五・〇〇	
黑紙金東郷バイスピード丸角	二三・〇〇	
▲道具用		
秤印丸角	一三・〇〇	
青紙編蝠丸角	一五・五〇	
蟲六角八角	一八・〇〇	
秤印平鋼	一三・〇〇	
一二〇五		

東郷金床用  
▲鑛山用

梅青紙 一・二〇〇  
旗青紙 一・五〇〇  
白紙蝠蝠中空鋼 二・四〇〇  
兜青紙 一・六〇〇

▲鋸用

兜赤紙平壹分厚 一・五〇〇  
樽六尺物 一・七〇〇

鷄白紙平一分厚 一・四〇〇  
東郷黃紙平一分 二・一〇〇  
同青紙前挽用 二・四〇〇

東郷白紙前挽用 二・四〇〇  
▲撥條用

秘印平鋼 一・四〇〇  
電車印赤紙平 一・四〇〇

瓦斯管 東京 梅岡己之助

舶來一尺 一・〇〇  
二 分 一・四〇  
三 分 二・二〇  
四 分 三・〇〇  
五 分 二・五〇  
六 分 三・八〇  
一 時 四・五〇  
一 時 二 分 一 五・五〇  
二 時 八・五〇  
二 時 二 分 一 一・二五〇  
三 時 一・五〇〇  
三 時 二 分 一 一・八〇〇

鐵 鋼

第 拾 號

四 時 一・八〇〇  
五 時 一・八〇〇  
六 時 二・五〇〇

引拔鋼管

(十二月二十日調)

日本鋼管株式會社

瓦斯管 (繼目ナシ引拔)

公稱內徑 壹呎ニ付

壹 時 二・八五  
壹 時 四 分 一 三・八〇  
壹 時 貳 分 一 四・五五  
壹 時 四 分 一 四・七〇  
貳 時 四 分 一 四・九五  
貳 時 貳 分 一 六・三〇  
貳 時 四 分 一 六・九〇  
貳 時 四 分 一 七・五〇  
參 時 八・一五  
參 時 二 分 一 一〇・三〇  
四 時 一 一・七五  
四 時 二 分 一 一三・八〇  
五 時 一 四・八〇  
六 時 二〇・三〇

フラン管 (繼目ナシ引拔)

外徑 壹呎ニ付

貳 時 三・七〇  
貳 時 貳 分 四・二〇  
貳 時 半 五・二〇  
貳 時 六 分 五・七六

參 時 六三・〇

參 時 二 分 七五・三

參 時 半 八一・五

四 時 一〇五・〇

五 時 一四六・〇

六 時 一九四・〇

ステー管 壹呎ニ付

外徑 貳分厚

貳 時 八二・五

貳 時 半 一〇六・〇

貳 時 六 分 一一八・〇

參 時 一三〇・〇

參 時 貳 分 一四一・五

參 時 貳 分 貳分五厘厚 一五八・五

參 時 一七三・〇

參 時 半 一八八・〇

四 時 二一七・五

右ノ外各種特製管賣價ハ其時ノ協議ニ依ル

亞 鉛 東京 竹内 商店

百斤ニ付

BHP 亞鉛 六八・〇

ホウヘンロー 六八・〇

MMG 一號 六三・〇

同 二號 六二・〇

地流亞上 六三・〇

同 中 六一・〇

支那產亞鉛 六三・〇

一・二〇六

錫 東京 竹内 商店

百斤ニ付 一〇八・〇

丁 錫 一〇九・〇

折 錫 一〇七・〇

同中興一號 一〇五・〇

二號 一〇三・〇

三號 一〇三・〇

鉛 東京 竹内 商店

百斤ニ付

濠洲生子鉛 二四・〇

舶來同棹鉛 二四・五

MMK 二三・〇

上等棹鉛 二三・五

KE 生子鉛 一四・〇

地 銅 大阪 佐渡島商店

百斤ニ付

九九五型銅 五四・〇

九九並丁銅 五四・〇

電 氣 銅 五七・〇

延地丁銅 五六・〇

長 棹 銅 五六・五

小棹銅一貫目 三・六〇

艶小棹同 四・一〇